

平成30年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	道の駅ミニ防災セミナー	事業経緯	新規	実施体制	協力	担当所属	企画調査室
事業名 (大項目)	地域づくり活動促進事業	分類名 (中項目)	地域連携・交流促進支援事業		事業区分	講座、セミナー、育成	

1. 事業目的

多様な人々が自由に出入りする道の駅は、休憩・情報発信・地域連携という本来の機能に加え、防災拠点や観光拠点としても認識されている。そして今般、地域特有の自然、歴史、伝統文化、芸能等のさまざまな「学びの場」に相応しいと今後の展開が期待されていることを受け、本事業を開催する。

2. 事業実施体制

主催：道の駅「庭園の郷 保内」、NPO法人 人と道研究会
 共催：三条市
 後援：国土交通省北陸地方整備局、全国「道の駅」連絡会、北陸「道の駅」連絡会
 協力：環境省、(一社)北陸地域づくり協会

3. 事業実施概要

日時：平成30年11月30日(金) 13:00～15:15
 場所：道の駅「庭園の郷 保内」(三条市内)
 プログラム：
 ・講演1「豪雨災害と三条市の防災対策～災害に強いまちづくりを目指して～」
 谷間 凌雲(三条市総務部行政課防災対策室)
 ・講演2「中越地震は何を教えているか」
 山口 寿道((公社)中越防災安全推進機構)
 ・講演3「地域における地球温暖化対策について」
 白井 智雄(新潟県地球温暖化防止活動推進センター)
 ・講演4「駅長時代に体験した、大災害時の道の駅の役割」
 小山 源昭(全国「道の駅」連絡会)
 ・講演5「三条市7.13水害の教訓」
 吉川 敬之(保内緑の里管理組合)
 ・講演6「中越地震から15年」
 岩船 真人(道の駅「クロスステン十日町」)
 ・最新の防災・福祉機器の展示
 参加者：50人

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

道の駅を学びの場としても活用しようと、全国で防災や健康をテーマとしたセミナーが開催されるなか、北陸管内で初めての開催となった。「新潟・福島豪雨」や「新潟県中越地震」など大きな災害の経験知をあらためて共有し、防災拠点としての道の駅の有用性を考える有意義な機会となった。今後はリレー方式での開催も予定されており、道の駅の価値をより一層高める取り組みが期待される。



駅内の一画を「学びの場」として活用

